

(平成 27 年 11 月 10 日山形県立保健医療大学大学院研究科委員会承認)  
(改正 平成 29 年 9 月 12 日山形県立保健医療大学大学院研究科委員会承認)

## 課題研究論文審査基準

### 審査及び試験の方法

課題研究論文の審査及び試験は、課題研究論文審査要綱第 4 条第 3 項及び同条第 4 項のとおりとする。

### 審査のポイント

- ・実践活動から課題を明確化していること
- ・実践活動の発展に有用であり、実践に活用できる研究として意義があること
- ・論理的に記述し、得られた結果に対する分析が十分であり、信頼性があること
- ・看護実践の質向上に寄与すると認められること

#### 1 論文構成

論文は、要旨、文献検討、目的、研究方法、結果、考察、結論、引用文献リスト、図表で構成されているか。

#### 2 問題設定

研究テーマに関連する先行研究を十分に吟味し、研究の背景や意義についての知識の整理を十分行っているか。

#### 3 研究方法

対象者の基準や選択根拠が明確であるか。

研究者と対象者との信頼関係を築きつつデータ収集を行っているか。

データ収集源を明確にし、対象者への看護行為、看護行為に対する反応等が詳細に記述されているか。

分析方法の選択根拠が明確で、分析の信頼性を担保しているか。

#### 4 結果

研究課題にもとづいて整理されているか。

事実は現象を明確に説明し、事実と解釈に恣意性がないか。

#### 5 考察

結果で得られた知見を概念化しているか。

得られた結果を先行研究と比較検討し、同じような現象への示唆を提言しているか。

#### 6 結論

研究目的に対して、研究目的に対する研究結果を反映しているか。

## 7 引用文献

引用文献の内容が正確に解釈されているか。

### 試験のポイント

#### 1 口頭発表及び口頭試問

審査会において、口頭発表は論理的に分かりやすく構成され、審査委員の口頭試問に対しても的確に説明しているか。